Oral Presentation

Magnetic Resonance Imaging

座長：松井 知也(日高総合病院)、山崎 勝(都島放射線科クリニック)

Sun. Jan 21, 2018 2:30 PM - 3:20 PM Room1 (2階)

3:00 PM - 3:10 PM

[27]Consideration of procedures of magnetic resonance imaging conditional pacemakers

小西 康彦[1]、*酒井 徳生[1]、田原 大世[1]、常玄 大輔[1]、池本 達彦[1]、西池 成章[1] (1. りんくう総合医療センター)

【背景】2012年より条件付 MRI対応心臓デバイスが発売され，当院でも同デバイスの埋め込み術を行っている．当院での同デバイス埋め込み件数が増えるにつれ，実際に MR検査を依頼される可能性も高くなる．そこで，より安全に MR検査を実施することを目的に，撮影依頼から検査終了までの手順を関連職種で検討を行った．今回，検討開始から現在までの取り組みについて報告したい．

【方法】条件付 MRI対応心臓デバイスおよび MR検査の基礎知識について臨床工学技士と情報共有を行い，撮影に対する基本方針（当院埋め込み患者，ペースメーカ外来受診，予約検査のみ），および検査終了までの手順を作成した．作成した手順は電子カルテ等のメール機能を利用し院内に周知を行った．実際に症例を経験した後，関係者でミーティングを行い手順の見直しを検討した．

【結果・考察】運用開始後,基本方針に合わないケースや2回目以降の検査依頼等想定外のケースを経験した．また，より安全な受け入れ体制へと事前準備物に変更等を行った．今後，デバイスの種類増加や3.0T装置対応等が進むと思われる．院内対応としても，他施設での埋め込み患者への対応，緊急時の対応など課題が多い．

©Japanese society of radiological technology kinki branch